



# これからの JABEE について

## ③ 電気電子分野

電気学会JABEE部会副部会長

電気・電子及び関連の工学分野別審査委員会委員長

相知 政司(千葉工業大学)

2024年6月5日(水)

@建築会館

# 電気学会のJABEE関連委員会



[https://www.iee.jp/comite/engineering\\_education/](https://www.iee.jp/comite/engineering_education/)

- 電気学会では、以下の通り、JABEE認定審査と、認定審査受審校に対する支援も積極的に行うために、「**技術者教育委員会**」を設置した。

## 設立の趣旨

電気学会は、技術者教育の重要性に鑑み、日本技術者教育認定機構(JABEE)の設立準備の段階より積極的に関与および貢献をしています。その一つとして、平成11年(1999年)11月の日本技術者教育認定機構(JABEE)設立にあわせる形で、本委員会の前身である技術者教育認定制度検討委員会(初代委員長:深尾正氏)が設立され、継続的に活動が行われた結果、技術者教育認定制度の基本となる認定基準制定に尽力すると共に、試行審査の段階からの経験を活かして、本審査を順調に実施することに成功し所期の目的を達成しました。

以上のようにJABEE認定審査が軌道に乗り、また、認定審査受審校に対する支援も積極的に行おうとすると、更には、今後の技術者教育全般の方向性論議をすることを考え、技術者教育認定制度検討委員会を改組して、電気技術者教育全般について議論するとともに、JABEE対応窓口としての機能を持たせる「**技術者教育委員会**」を設置しました。<sup>2</sup>

# 電気学会 技術者教育委員会の役割



[https://www.iee.jp/comite/engineering\\_education/](https://www.iee.jp/comite/engineering_education/)

技術者教育委員会の役割は、JABEE認定・審査への協力、電気分野のさまざまな技術者教育に関する支援等、技術者教育全般について審議します。

主要な審議事項は、次のような事項です。

- 事業計画に関する事項
- **JABEE事業に関する事項**
- CPD事業に関する事項
- 教育支援事業に関する事項
- 大会・研究会等に関する事項
- その他、技術者教育に関連する事項

前項の各事項の審議について、必要と認められる範囲で、関連委員会等と連携を図ります。

# 電気学会 技術者教育委員会の組織体系



[https://www.iee.jp/comite/engineering\\_education/](https://www.iee.jp/comite/engineering_education/)

技術者教育委員会には、事業を達成するための下部組織として、「**JABEE部会**」「CPD部会」および「教育支援部会」が置かれています。また、必要に応じ、該当する部会やワーキング・グループを設置することができるようになっております。現在の組織体系は下図に示すようになっております。

- **JABEE部会**
- CPD部会
- 教育支援部会

<https://www.iee.jp/comite/jabee/> より

設立

2003年12月（設置）

JABEE審査実行部会（部会長 日高邦彦）

JABEE普及支援部会（部会長 三木一郎）

2007年4月に上記2部会を統合改組し、**JABEE部会**となる

## ・ 設立の趣旨

1999年11月、大学等における技術者教育認定制度の確立を目指して、「日本技術者教育認定機構 (Japan Accreditation Board for Engineering Education, 略称JABEE)」が設立されました。JABEEは、工学系の学協会が会員となり、通産省 (現, 経済産業省), 文部省 (現, 文部科学省) などの政府機関並びに経団連を始めとする産業界の支援を得て設立された組織です。JABEEは、個人の技術者資格を認定するのではなく、大学等の教育プログラムが基準を満たしているかを認定することを目的としています。工学の各分野における認定に関わる作業 (認定基準の策定, 認定手順およびマニュアル等の整備, 審査員の養成, 認定審査の実施など) は、各分野の学協会の協力により行われることになっており、電気学会は**電気関連分野の中核学協会として参画**しています。

当初発足した電気学会技術者教育委員会の中のJABEE審査実行部会とJABEE普及支援部会は、電気学会としてのJABEE対応の組織です。これらの組織では、電気学会関連分野におけるJABEE審査を関連学協会と連携して実施すること、JABEE本体の委員会に電気学会代表委員を送り**JABEEの運営に積極的に関与**すること、**JABEEの普及支援活動**を通して高等教育機関の教育改善を支援すること、などの役割を担ってきました。

その後、電気学会内でのJABEE事業が定常化することを受けてJABEE審査実行部会とJABEE普及支援部会を統合し、**JABEE部会**が平成19年 (2007年) 4月に発足しました。



# 電気学会 JABEE部会の近年の活動について

## ●新型コロナウイルス感染症拡大前、対面で実施

- 電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会 主催 2019年度認定基準改定対応 日本技術者教育認定制度(JABEE) **審査講習会** および **受審校向け講習会** (2019年1月13日開催)
- 電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会 主催 日本技術者教育認定制度(JABEE) **審査講習会** および **受審校向け講習会** (2019年11月30日開催)

## ●新型コロナウイルス感染症拡大後、オンラインで実施

- 日本技術者教育認定制度(JABEE) **受審校向け講習会** (2022年2月23日開催)
- 日本技術者教育認定制度(JABEE) **受審校向け講習会** (2023年2月23日開催)
- 日本技術者教育認定制度(JABEE) **受審校向け講習会** (2024年2月23日開催) <sup>6</sup>



# JABEE認定電気電子分野教育プログラム

[https://jabee.org/doc/list2023\\_231208.pdf](https://jabee.org/doc/list2023_231208.pdf) より

- 2023年12月現在、電気・電子分野、認定教育プログラム数
- 合計：21プログラム
  - 国立大学：12
  - 公立大学：1
  - 私立大学：5
  - 高専専攻科：3

今後、電気・電子分野の認定教育プログラムが増加するよう、電気学会JABEE部会を中心に、活動を継続して行く予定である。



# 電気電子分野における課題

- 新規にJABEE審査員になる方が，減少している。
- JABEE認定プログラムが，継続認定を受審しない場合がある。
- 電気学会JABEE部会の委員も，委員数が減少傾向であり，高齢化が進んである。

# これからの JABEE について



- JABEEが発足して、25周年を迎えるが、まだまだ、「技術者教育に関する日本の国としての**国際協定**であるエンジニアリング系の**ワシントン協定**」について、日本国内での認知度が低すぎると感じている。
- JABEEの知名度はあっても、その**必要性・重要性**が国内高等教育機関に十分に認知されていない。(目先業務に追われ JABEE審査を受審(継続)する余裕がない事情も推察される。)
- 今後、日本国内で技術者教育を行う高等教育機関は、**国際化が必須：国際化＝国際標準準拠の教育システム充実**。(留学制度充実も重要だが、あくまでも国際化⇨留学)。

# これからの JABEE について



## 高等教育機関での技術者教育の国際化

海外インター  
ターン  
シップ

学生が  
海外に  
留学する

教育に関する国際的協定に加盟し、各教育機関が認定を受け、修了生の質を国際的に担保する

留学生を  
受け入れ  
る

諸外国の  
学生と交  
流する



# これからの JABEE について

- JABEEが発足して、25周年は、日本の高等教育機関技術者教育に関する国際化の通過点です。
- 今後、ますます、**JABEEの重要性**が、増加すると考えられます。
- 電気学会では、**JABEE部会**を中心として、**JABEE電気電子分野**の普及とJABEE審査に積極的に、参加する予定です。